

函館市は、2050年の温室効果ガス排出量 実質ゼロ「ゼロカーボンシティ」をめざします

私たちは、暮らしや社会の中で電気、石油、ガスなど、多くのエネルギーを使い、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しています。

近年、温室効果ガスの増加により、地球の平均気温が上昇する「地球温暖化」が進んでおり、函館市でもこの100年で約1.9℃上昇し、今後、大雨の頻度や災害、熱中症などのリスクがさらに増加することが予想されています。

函館市では、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティはこだて」の実現をめざし、2023年1月に策定した「第2次函館市地球温暖化対策実行計画」に基づいて、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

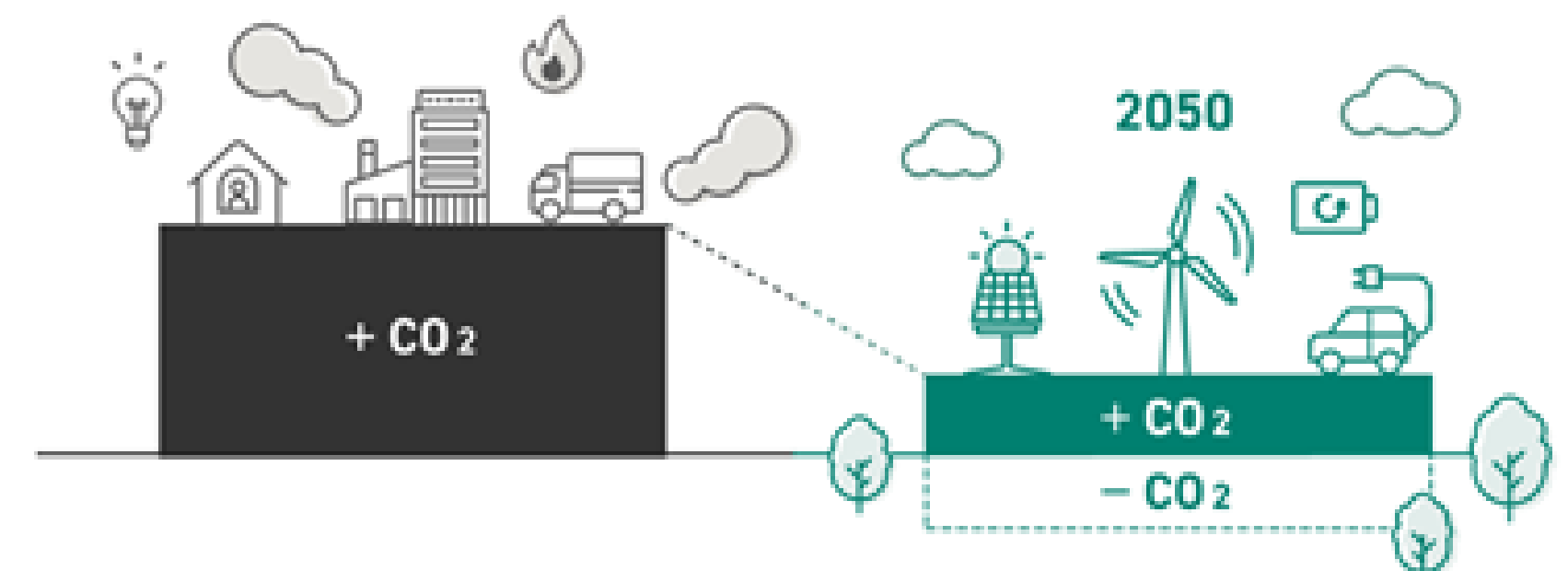
地球温暖化の防止は、市民の皆さんが日常生活の中で、**できることから脱炭素型のライフスタイルに転換**していくことが大切です。

エネルギーを賢く使い、健康で快適に暮らし続けられるエコなまちを一緒にめざしましょう。

《ゼロカーボンシティ宣言》



実質ゼロとは



二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」(※)から、植林、森林管理などによる「吸収量」(※)を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。
(※)ここでの温室効果ガスの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。